

新年のごあいさつ

北海道知的障害児者生活サポート協会

会長 畑中 三岐子



明けましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれましては、新年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より北海道知的障害児者生活サポート協会に対しご支援ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、いまだに終息が見通せません。時間の経過とともに、私達の生活や社会経済活動に多大なる影響を与え続けております。オリンピックをはじめ国レベルの行事はもちろん、私達にとって身近な事業や行事までもが参加人数等、開催方法の変更や、中止を余儀なくされました。

私たちは三密（密閉・密集・密接）を避け、マスクの着用、手指の消毒など、できる予防策を取りながら生活しておりますが、いつまでこの生活が続くのか、現状では見通せず、一日も早い終息を願うばかりです。

こうした中、生活サポート協会では、会員の皆様の不安を少しでも取り除くことが出来ればと、コロナ対策での入院保証や親なき後をサポートする新商品の生命保険信託のご案内等の業務を行っております。お会いして説

明することが困難な中、新たな時代に合った対策を模索しておりますが、もどかしさは否めません。

しかし、お陰様で昨年も多くの方の会員の皆様にご加入をいただきました。心より感謝を申し上げます。

今後とも、一層のご支援とご協力をお願いし、本年が会員の皆様に取りまして、幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶とします。

バラのまち岩見沢に

集まろう

第66回北海道手をつなぐ育成会全道大会

岩見沢大会実行委員長 佐藤 恵三

(空知手をつなぐ育成会連絡協議会会長
岩見沢市手をつなぐ育成会会長)



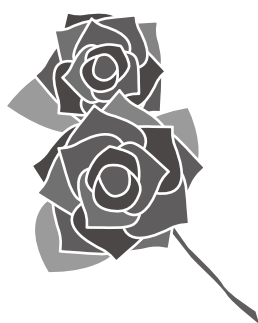
新年明けましておめでとうございます。会員の皆様並びに育成会活動に対しご支援ご理解をいただいております皆様にとりまして、コロナ禍の中にも穏やかな新春を迎えられましたことを心より喜び申し上げます。

さて、今年度、全道大会北見大会が新型コロナウイルス感染症拡大の中で中止になり大変残念でした。しかし、令和3年7月31日(土)8月1日(日)に空知ブロックの岩見沢市において、第66回北海道手をつなぐ育成会全道大会を開催することになりました。

空知ブロックでは、平成23年の深川大会以来10年ぶり、岩見沢市では昭和61年以来35年ぶりの開催となり、全道各地より育成会の皆様をお迎えすることになります。

この度は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せない中であることや、オリ・パラの開催期間と重なることなどが懸念されますが、60年以上にわたる大会の歴史を途切れさせないためにも必ず成功させたいと思っています。岩見沢大会のテーマ『だれもが自分らしく暮らせる社会を』、大会スローガン『巻き起こそう！共生社会の実現を』、バラのまち岩見沢から』を掲げ、障がいの有無にとらわれず、一人一人が持つ生命の重さに思いを馳せ、お互いの人格と個性を尊重しあえる「共生社会」実現に向け、全ての参加者と心を一つに、知恵を出し合い、新たな決意を分かち合える場として、空知手をつなぐ育成会連絡協議会、オール空知の総力を挙げ、心を込めて準備をしております。

岩見沢市は道央に位置しておりますが、広い北海道ですので、長旅になる方もいらっしゃると思います。より良い研修と交流を深めていただける大会になるよう空知ブロックの関係者が一体となり皆様をお迎え致します。多くの方々にご参加頂きますよう、心からお待ち申し上げます。



新年
私の抱負



審議会委員の一人として 積極的発言に努めたい

私は障がいを抱えており、まさか私が、北海道障がい者施策推進審議会委員に任命されるとは思いませんでした。

任命後、初の第3回審議会（昨年10月28日開催）では、「支援にあたって、事業所が本人の特性を把握、理解してもらいたい」と発言しました。他の委員からも多くの発言があり、大変勉強になっています。

委員として私は、これからも障がいを抱える本人の立場と、思いを積極的に発言して、一つでも私達の思いを実現できたらと思っています。また、このたびの審議会委員の任命を契機に、これからの活動に繋げていきたいです。

最後に「新北海道スタイル」をとりながら、コロナウイルスに負けずに頑張りますよう。

旭川手をつなぐ育成会副会長
青年部ひばりサークル会長 菅原 広美

※ 道では、障害者基本法に基づき「北海道障がい者施策推進審議会」を設置し、「第6期北海道障がい福祉計画」（令和3～5年度）について調査、審議を進めています。

審議内容は障害福祉サービスや障害児通所支援等の提供体制の確保、障害のある人の就労支援に関する施策の実施等です。委員は関係行政機関の職員、学識経験者、障がい当事者等で、任期は、2年間です。

※ 菅原さん（38歳）は旭川にて出生、特殊（特別支援）学級で学び、美深高等養護学校木工科を卒業。その後、食品会社やクリーニング会社での勤務を経て、現在、（株）ベルシステム24（コールセンター）に勤務（清掃業務）されています。

平成20年から現在まで、旭川手をつなぐ育成会本人会「ひばりサークル」の会長として、会員からの意見を汲み入れながら運営に力を注ぎ、多くの方々から慕われ、信頼され活動されています。

24年には旭川育成会の理事に選任され、本年度からは副会長をお務めです。

審議会では、旭川育成会の松原事務局長が「支援者」として同席します。

祝！令和2年度会長表彰

長年にわたる努力、貢献に表彰状と感謝状！

【表彰状】

自立更生者

※その障がいを克服し、現在立派に自立更生し、他の障がい者の模範と認められる方。

菅原 一樹 様（札幌市手をつなぐ育成会）

竹原 利男 様（伊達市手をつなぐ育成会）

苦 千絵 様（伊達市手をつなぐ育成会）

藤原奈津子 様（伊達市手をつなぐ育成会）

大澤 昌子 様（伊達市手をつなぐ育成会）

自立更生支援者

※永年にわたる障がい者の更生支援に尽力し、その功績が顕著であると認められる方。

村井 信夫 様（北見市手をつなぐ育成会）

【感謝状】

※知的障がい者の福祉の向上、雇用等に顕著な貢献のあった個人または団体。

森本 千尋 様（北海道手をつなぐ育成会通所事業所連絡協議会）

※本来であれば、第65回全道大会北見大会において授与を予定していましたが、中止を余儀なくされたため、第3回理事會にてお渡しする準備を進めていました。しかし、書面決議に変更されたため、各育成会にお届けしています。



今後の予定

1月9日(土)

第66回全道大会岩見沢大会
第3回実行委員会

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気がケガが絶えない...
成人病や生活習慣病に備えたい...
他人の物を壊してしまった...
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある...

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康保険（特約付）2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようにお困り事に
心当たりがある方に...

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

弁護士が
全面的に
サポート

ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階
TEL: 0120-322-150
平日9時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

知的障がい児者・自閉症児者の
生活サポは **家族の安心を支えます**

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気がケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は...
全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

**AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気がケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目8-2
SRビル4F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年1月現在の内容です。(D-004359 2021-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
通所事業所連絡協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 (4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

認定NPO法人 森の家

〒086-1011 標津郡中標津町東11条南7丁目21番地
電話&FAX (0153)72-5242
E-mail: forest1@snow.plala.or.jp

★就労継続支援B型事業所

☆定員…20名

★主な作業

- ☆木工・手芸製作販売
- ☆燻炭製造販売
- ☆墓清掃等施設外就労

森の家感謝祭（野菜の販売）